

謹啓

先般

亡夫

太郎

帰幽に

際しましては

ご多用の中にもかかわらず

御弔慰を賜りかつご丁重なる

御玉串料に預かり

誠に有難く厚く御礼申し上げます

おかげをもちまして滞りなく

五十日祭

を相営みました

つきましては徳草のしるしまでに

心ばかりの品をお届けいたしました

何卒ご受納くださいますよう

お願い申し上げます

本来ならば直接お目にかかり

お礼を申し上げるべき事と

存じますが

略儀失礼ながら書中をもって

謹んでご挨拶申し上げます

敬具

令和〇年〇月

白銀花子